

ぼくは、
誰よりも、
幸せだった。

禍福一如

この世に起きる全てのものは、

心の持ち方一つで、

幸せにも、不幸にもなる。

両腕を失いながらも、

いつも笑顔で、皆に優しく、

誰よりも生きることを楽しんだ、

南正文（みなみまさのり）。

一筆、一筆、口だけで描いた彼の絵から、
その生き方を多くの人に感じてほしい。

南正文個展

入場無料

2015年

11月24日（火）-30日（月）

中日文化センター4階・中日ギャラリー

開催時間：午前10時～午後5時

※最終日の30日（月）は午後1時に閉館となります。



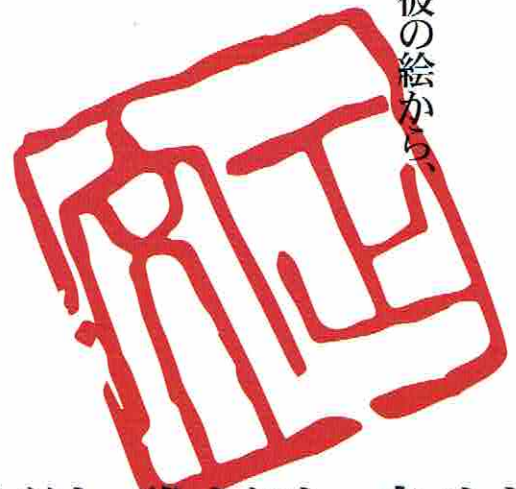
主催：口と足で描く芸術家協会
後援：愛知県教育委員会、岩倉市教育委員会、
尾張旭市教育委員会
協力：（株）アイワ工芸、SYNCTHINK、洞光院



みなみ まさのり 1951年9月 大阪府堺市生まれ。

小学校3年生の春休みの最後の日、父が経営する木工所で、機械のベルトに巻き込まれて両腕を切断。怪我の為、2年遅れて養護学校へ4年生から入学し勉学と生活訓練に励む。中学2年の時、今は亡き口筆画家「大石順教尼」の最後の弟子となり口に筆をくわえ毛筆と日本画に取組み、67年、堺市展に初出品、入選。以降、毎年公募展で入選、受賞を繰り返す。1975年、世界身体障害芸術家協会（現在の口と足で描く芸術家協会）会員へ。画家として、また協会会員として絵画の制作、個展を中心とした活動を続けながら、全国の少年院、寺院、小学校、刑務所などを訪れ、講演活動やタイの里親制度に対する支援、また、ネパールの小学校建設などを行った。2012年12月、永眠。生涯で、約900点もの絵画を制作する。

両腕を失いながらも、いつも笑顔で、皆に優しく、誰よりも生きることを楽しんだ、南正文（みなみまさのり）。一筆、一筆、口だけで描いた彼の絵から、その生き方を感じてください。



ぼくは、誰よりも、幸せだった。



2015年
11月24日(火)～30日(月)
中日文化センター4階・中日ギャラリー
開催時間：午前10時～午後5時 入場無料
※最終日の30日(月)は午後1時に閉館となります。

【南正文ドキュメンタリーショートムービー上映】
中日文化センター5階・中日小ギャラリー

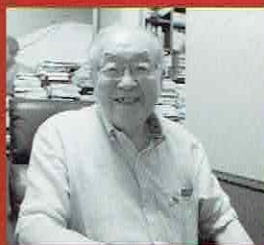
●上映時間：午前10時～午後5時
※最終日の30日(月)は午後1時に閉館となります。

お問合せ先：南正文個展実行委員会 TEL(050)3367-4796
主催：口と足で描く芸術家協会
後援：愛知県教育委員会、岩倉市教育委員会、尾張旭市教育委員会
協力：(株)アイワ工芸、SYNCTHINK、洞光院

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4階
電話：0120-53-8164 (10:00～19:00 日曜日は17:00)
地下鉄東山線または、名城線「栄」駅下車。徒歩3分。

～南正文を愛する皆からのメッセージ～

帝津三敬病院名誉院長
帯津 良一 先生
一枚一枚の絵のなかに南さんの「歓喜と創造」が息づいている。



小室 等 氏
お会いするときはいつも、南さんは微笑みのお顔で、静かに夢を語っておられました。南さんはその夢を、絵の中に描き残して旅立って逝かれたのだと思います。



アソシア志友館理事長
柴田 秋雄 氏
私の大切な心友「南正文」君の個展が名古屋で開催されることになった。嬉しい限りである。また、君に会えるぞ！



水谷 ミミ さん
今でも、講談、南正文物語をあらうごちうで語らせて頂いています。私の中で、ズーッと南さんは生きています。